

平成 18 年 11 月 14 日

各 位

東燃ゼネラル石油株式会社
東京都港区港南一丁目 8 番 15 号
代表取締役会長兼社長
ディー・ジー・ワスコム
(コード番号: 東証第 1 部 5012)
問合せ先:
エクソンモービル有限会社
広報渉外部
Tel: 03-6713-4400

東燃ゼネラル石油(株)平成 18 年 12 月期 業績予想の修正に関するお知らせ

東燃ゼネラル石油株式会社は、平成 18 年 8 月 22 日に発表した平成 18 年 12 月期(平成 18 年 1 月 1 日～平成 18 年 12 月 31 日)の連結および単体業績予想を以下の通り修正いたしましたのでお知らせします。

1. 平成 18 年 12 月期(平成 18 年 1 月 1 日～平成 18 年 12 月 31 日)業績予想

連結業績予想 :

(単位: 億円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
今回修正予想(A)	31,400	390	450	270
前回発表予想(B)	31,760	210	270	160
増減額(A-B)	▲360	180	180	110
増減率	▲1%	86%	67%	69%

(B)平成 18 年 8 月 22 日発表

単体業績予想 :

(単位: 億円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
今回修正予想(A)	30,800	210	810	690
前回発表予想(B)	31,180	▲10	590	570
増減額(A-B)	▲380	220	220	120
増減率	▲1%	--	37%	21%

(B)平成 18 年 8 月 22 日発表

2. 修正の理由

平成 18 年 12 月期の連結営業利益は 390 億円となる見通しです。1-9 月期の業績(連結営業利益 404 億円)を勘案した結果、本年 8 月に発表した前回業績予想を上方修正いたします。今回の修正は、8 月後半以降の原油価格下落により 7-9 月期における石油部門の収益が大幅に改善したこと、および石油化学部門の 7-9 月期の収益が前回 8 月時点の予想を上回ったことを反映しています。

当社は、今回の業績修正を行うにあたり、10-12 月期に関して以下の点を想定しています。

- (1) 石油製品マージンは、前回予想と比べ若干改善する見込みです。但し、前述した原油コスト認識方法の違いが収益に与える影響があるため、当社は、10-12 月期において原油価格が大幅に上昇した場合には今回の予想に対して下方修正の可能性があると考えています。
- (2) 石油製品の販売数量は、前回予想とほぼ同水準となる見込みです。
- (3) 石油化学部門の収益は、前回予想とほぼ同水準を見込んでいます。
- (4) 通期の在庫評価益は前回予想と同水準を見込んでいます。これは、1-9 月期の在庫評価益が 10-12 月期に大幅に減少するという保守的な想定に基づくものです。当社は在庫評価に後入先出法を採用しており、在庫評価の影響は、年末の在庫水準や原油・製品価格により大きく左右されます。したがって、在庫評価益の予想には相当の不確実性を伴いますが、在庫評価に関して、当社は今回の業績予想に対し主に上方修正の可能性があると考えています。

以 上